

(3) 道路の整備



塩川町には国道121号をはじめ、多くの県道が通っていますが、昔は道はばもせまく、砂利道で、雪のつもる季節には除雪もされなかったもので、行き来がたいへん不便でした。交通の発達につれて、道路の幅を広げたり、ほそうされるようになり、また、除雪車や消雪パイプなどによって冬でも安全に通行できるようになりました。

しかし、車の交通量がふえたため、市街地の国道121号は、バイパス工事が行われました。今から15年ほど前に東大橋とバイパス道路が完成し、市街地の交通がゆるやかになりました。

このように、今までの道路を通らなくても目的地に安全に早く行けるバイパス道路の工事は、ほかの地区でも行われ、交通はますます便利になってきています。